

特集：VS剪定サービス部 「年に1度は庭木剪定を！」

住民の立場でビレジの緑の環境を守ろうと、VS剪定団が活動を始めて5年。おかげ様で年間100軒を超えるお宅で庭木剪定をさせていただいています。柏ビレジがいつまでも魅力的で活力ある街であり続けるように、住民の皆様と共によりよい緑の環境について考え、楽しく活動しています。



なぜ年に1度の庭木剪定が必要か？

剪定サービス部は、剪定作業させていただいたお客様に、約10か月後に剪定時期が近づきましたというご案内を差し上げています。庭木には年に1度の剪定が望ましいと考えているからです。

1. 庭木も「生きもの」、ケアと躰けが不可欠

愛犬や愛猫のケアを怠れば愛らしさを失い、躰けを怠れば困り者になります。庭木も美観や目隠しなどの役割を持った「生きもの」です。放置すれば「ノラ庭木」になって役目を放棄し、害虫を呼び込んで飼い主にリベンジするかもしれません。庭木にも理にかなったケアと躰けが欠かせません。それが定期的な剪定です。

庭には様々な樹木が植えられています。本来は庭園の植木のように夫々の樹木の特性に合った季節毎の剪定が望ましいのですが、住宅の庭木は年に1度の剪定が一般的です。それ以上間隔があくと、樹木は勝手気ままに枝葉を伸ばして樹形を大きく乱し、光が内部に届かず枯れて空洞になり、風通しの悪化で病虫害が生じるなど、庭木本来の機能が失われ、美しさと健康の回復が難しくなってしまいます。

2. 緑地協定で定められたビレジ住民の基本マナー

お宅の庭木が生い茂ってお隣に侵入したり、道路や緑道の通行の妨げになっていませんか？ 放置された庭は見苦しいだけでなく、病虫害が発生する原因にもなります。柏ビレジ緑地協定で年1回の剪定の実施が定められています。基本マナーを守りましょう。

緑地協定第7条（6）：土地所有者等は、植栽した樹木が各家庭、地域の環境保全に役立つようにするため、剪定、病虫害防除などを年一回実施するものとする。

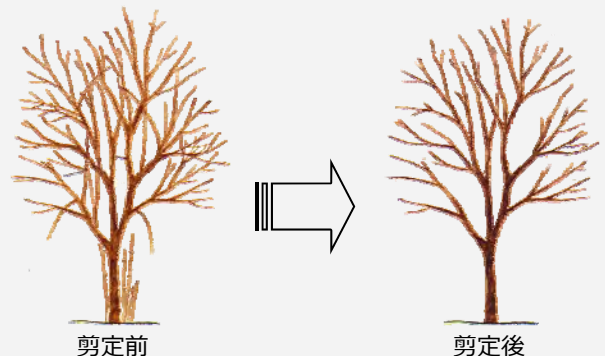
（注：VSでは消毒作業はお受けしていません。）

剪定作業は樹木との対話です

剪定は伸びた部分をカットするだけではありません。その樹木の役割を理解し、状態を知り、どうすれば美しく成長するか考え、それを樹木に教え込む作業なのです。作業者は樹木の知識を持ち、実現させたい将来の姿を描き、どの枝をどこで切ればそうなるかを判断し、的確に剪定鋏をふるう技術を磨かねばなりません。VS剪定部員には新人もいますが、全員がその心意気で取り組んでいます。

剪定の基本作業の例

1. 庭全体を観察し、各々の樹木の役割を理解し、あるべき樹形（大きさ、形、歪みの是正、伸ばしたい方向等）をイメージする。
2. 樹冠ラインから飛び出した枝、込み合った枝を切り落とす。
3. 樹形を乱している不要枝（枯れ枝、徒長枝、立ち枝、絡み枝、逆さ枝、下がり枝、込み枝、ひこばえ）を切り取る。内部まで日照と風が入るように、透かし剪定を施す。
4. 枝の流れ、全体のバランス、美観を確認しながら仕上げる。
5. 剪定で生じたゴミ（幹、枝、葉等）をきれいに片づける。



VS剪定サービス お申込みから作業終了までの流れ

1. IVY-LABOの受付にお問合せ、お申込み下さい。
2. 作業リーダーが現場下見の日程を調整させていただきます。
3. お庭を拝見してご希望を伺います。樹木1本1本の種類や樹高、剪定の難易度によって見積書を作成し、ご提出します。
4. 見積にご納得いただければ、剪定作業日をご相談します。
5. 作業当日は数名のスタッフがご伺いし、原則として午前中に作業を終え、発生した剪定ごみを柏市のクリーンセンターに持ち込みます。代金は終了後にごみ処理の実費と共に現金で精算をお願いします。
6. 作業に不備があれば即日修正します。

剪定、やってみませんか？ スタッフ募集中！

ビレジ住民約30名（女性含む）が楽しくやっています。友達の輪が広がり、学びの場でもあります。丁寧に技術指導します。

見学歓迎！（写真：2017年12月 刃物砥ぎ講習会）

